



Weekly Report

2024-25



60th
Anniversary

創立/1965年5月22日
例会日/毎週木曜日 PM12:30~
会場/江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金112
0587-54-8132

事務局/江南商工会館 別館1F
TEL/0587-55-6554
FAX/0587-59-7720
URL/https://www.konan-rc.com
Mail/konanrc@beach.ocn.ne.jp
会長/南村 朋幸 幹事/三輪 慎一郎 会報委員長/横山 史明



2025年(令和7年) 5月22日(木) 晴れ 第2835回(当年度第32回 例会)

点鐘 会長 南村 朋幸君
司会 SAA 岩田 静夫君
ロータリーソング斉唱 「我らの生業」
ソングリーダー 北畑 祐二君
四つのテスト斉唱 永田 広光君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶



会長 南村 朋幸君

皆さん、こんにちは。
まずは何より先日の60周年記念祝賀会におきましては、メンバー皆様には準備段階から当日の設営、本番でのおもてなしに至るまでの長い時間にわたって様々な場面でご尽力いただきましたこと心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。
お陰様で、無事大過なくその日を終わることが出来まし

たのも、例外なくここにお揃いの皆様方、また本日不在でも当日にお越し下さった全ての皆様のお陰だと思っています。ひょっとすると私の耳に入っていないだけで、それぞれの持ち場で小さなトラブルなどいろんなことがあったかも知れません。しかしながら、恐らくメンバー皆さんが持つ現場対応力の高さと何とかなったからこそ、私の耳にまで届かなかったであろうかと推察します。その点は、ロータリーの友情をもってお許し頂きたいと思えます。

今回ご担当頂いた堀尾担当副委員長、波多野委員長には、準備段階からホテルやエンタメ、司会者や通訳さんとの折衝など何かとご苦労をお掛けしました。また、舞台担当の田中委員長・林委員には、リハの段階において何かと注文を付けてしまい余分な困惑を招いてしまいました。申し訳なく思っていますが、そんな逆境をものともせずスムーズな舞台運営を見事やりきってくれました。

片平さんには我々の先をいく発想力で看板の発注などにご対応頂きました。特に潮州との調印式では映える看板をご用意頂き本当にありがとうございました。
アトラクションにつきましては、客観的に見ても結構会場が沸いており、皆様、愉しそうにご覧になられていたのが印象的でした。

終宴後には皆さん勢揃いでお見送りを頂き、「おもてなし」を完結できたことは本当に良かったと思います。
本来ならこれで終わりとしたところでしたが、今回は場所を変えての二次会的な懇親会があるということで、ご参加いただいた皆様には更なるご負担を強いる形になりましたが、快くご参加いただきありがとうございました。
今回は積極的に「歌」の概念を取り入れ、潮州・熊本の皆様も盛り上がっていたように感じました。企画としてはまずまずだったように思います。特に最後の締めを担当した永田副会長からまさかの潮州に対する「宣戦布告」は衝撃的でしたが、向かうところ敵なしの永田副会長が前衛部隊を引き連れ、どこまで善戦されるか私も現地でしっかり見届けたいと思えます。

あと、翌日になりますが、熊本江南RCの有志皆様と、江南からは伊藤実行委員長、岩井さん、内田君の三方にて名古屋の名門「和合コース」にて親善ゴルフコンペを催されました。私も三輪幹事と一緒にホールアウト後のパーティにご挨拶にうかがい、江南RCとしての優勝賞品を優勝者に手渡ししてきました。

以上つらつらと時系列で振り返りましたが、特に先輩やパスト会長皆様、そして伊藤実行委員長には、総合して何かと思うところたくさんあったかとは思いますが、寛大に私のわがままをお聞き入れ下さり心から感謝を申し上げます。

皆様に戴いたこのご恩は、今後クラブに対しフィードバックしていくことでお返しさせて頂きたいと思っております。

さて、本日の卓話は次年度の皆様のお話です。61年目として新たなるスタートを切る重要な年度です。本年同様、変わらぬコミットメントをお願い申し上げ、会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

永年在籍表彰



在籍年数35年 森 弘好君



在籍年数20年 岩田 静夫君



在籍年数20年 枚本 哲一君



在籍年数25年 杉浦 賢二君



代表して森弘好君が在籍35年の思いを語りました

幹事報告 -別紙- 副幹事 北畑 祐二君

出席報告 委員 林 庸介君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
55名	36名	19名	67.92%

ニコボックス

委員 林 庸介君

○地区協で／次年度始まる／沢田丸
地区研修・協議会の報告をお願い致します。
南村 朋幸、永田 広光、三輪 慎一郎、北畑 祐二
各君

○永年表彰を受けた喜び
森 弘好君

○永年在籍表彰25年 ありがとうございます。
杉浦 賢二君

○今日は、研修協議会報告をさせていただきます。
沢田 昌久君

○在籍20年の喜びとして
岩田 静夫君

○御陰様で「あっ！」という間の在籍20年でした。
今後共、御指導御鞭撻の程よろしく願います。
枚本 哲一君

○本日、社会奉仕委員会・地区研修協議会報告をさせていただきます。
波多野 智章君

○本日の卓話よろしく願います。
早川 一三君

○本日、地区研修・協議会報告をさせていただきます。
田中 健君

5/22(木)地区研修・協議会報告
次年度会長並びに各委員長の皆さん、よろしく願
い致します。

松岡 一成、中村 耕司、富田 清孝、木本 寛
各君

卓話

次年度 会長 沢田 昌久君



私が受講した第一分科会では我が江南クラブの伊藤靖祐パストガバナーが講師としてお話をされました。他にも各担当の説明もありましたが、パストガバナーの講演をまとめてお話ししたいと思います。

2022-2023年のジェニファー・ジョーンズ元RI会長の言葉には、私が思うところの信念にそぐわないことばが三つほど紹介されていました。

- ① 「雑草には水をやらなくていい」
- ② 「水は花を咲かせる植物にやるべきだ」
- ③ 「雑草は抜くことだ」

現代の多様性を考えると疑問符がつきます。昔、ロータリーは落ちているタバコは拾わなくてもいい、タバコを捨てない社会にするのがロータリーの活動だという話を聞いたことがあります。そういう意味からすれば、ポールハリスの最初の活動に公衆トイレを設置したことも

うなづけます。
こうした時代感覚の流れや、RIロータリーの考えの変遷を考えずにはいられないと思います。

地区の次年度は、ひたすら会員増強を唱えています。伊藤パストガバナーは自分のクラブを見て3年後、10年後にどんなクラブになりたいですか。の問いかけをしています。

魅力あるクラブになるためには、何をすれば良いのでしょうか。

その目的のために戦略計画を立てる、行動計画を立てる必要がある。

ロータリーのアクションプランの、つまり行動計画は

- ① より大きなインパクトをもたらす
- ② 参加者の基盤を広げる
- ③ 参加者の積極的なかわりを促す
- ④ 適応力を高める

こうしたクラブ計画があって、クラブ行動計画に推進リーダーを置き、戦略計画委員会主導の3年間の目標を立てる。こうした中長期計画を策定し、目標を作り、検証をおこなっていくことが必要であるとの説明でした。

その目標となるのは、会員増強や奉仕、交流活動などすべてのクラブ運営の長期戦略を決めていくこととなります。

地区では、次年度は、その助けとなるべくクラブサポートミーティングが定期的に開催されるようです。

このクラブサポートミーティングを通じて、クラブの悩みをみんなで解決していこうということです。

会員増強がうまくいかない、奉仕活動は今のままで良いのか、会員にもっと寄付をしてもらいたい、居心地の良いクラブにするにはどうしたらいいのかなどなどです。それをクラブの実績や目標として原状を数値に表し、可視化にすることをおこなっていくとのことです。

そのような内容をふまえて、クラブで行動計画推進リーダーを選出してくださいということなので、次年度は私が会長ですから私が担当してまいりたいと思います。また、危機管理の始まりというテーマで別の講演もありました。

自分のクラブに危機管理委員会は設置されていますかとお尋ねです。

留学生を虐待・ハラスメントから守るためにも大切なこととすし、女性会員への対応はもちろん、クラブ内外に関わるハラスメント行為を無くすのが、世の潮流になっています。

できれば、私の年度でこの委員会ができることを望んでいます。

以上で、私の研修報告とします。

次年度 公共イメージ向上常任委員長 田中 健君



みなさん こんにちは。
次年度公共イメージ向上常任委員長を拝命いたしました田中でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。
先般開催されました地区研修・協議会の報告を致します。

私が参加したのは、第2分科会で、テーマは、「ロータリーの公共イメージ向上について」です。

公共イメージを“向上”するとは 公共イメージとは、「頭に浮かぶ独自のイメージ」、向上とは、「それを確立していくための不断的努力」自分から言うにとどまらず、相手が言ってくれるようになるために行動で示し続けるということでした。

江南ロータリークラブの取り組みが、広く認知され、地域社会の発展に貢献できているということ、そして、それが自己満足ではなく、地域社会より自然と声上がるまで、発信し続けることなんだと思います。

一番の課題としては、どのようにそれらの情報を継続的に広く発信できるのかということです。

HPだけに情報があっても、効果はなく、それを活かす広告メディアが必要になります。

一昔前は、新聞広告やTVCMが主流でしたが、現在は、SNSがかなり発展しているため、時代と共に江南ロータリークラブも順応していく必要性を強く感じました。

次年度の取り組みとして検討していきます。
次に、公共イメージ向上の目的についてです。

1 公共イメージ向上の目的とは？

→ロータリーの目的・活動が正しく・広く社会に認知されること

2 なぜ認知されるべきなのか？

→共感者を増やし、参加者の基盤を広げるため(行政・団体・市民etc)

3 なぜ参加者の基盤を広げる必要があるのか？

→ロータリーのビジョンの実現に近づくため

ということでした。

次に、こんな質問がありました。皆さんも一度考えてみてください。

Q. 外部の方にロータリーは何？と聞かれてなんと答えますか？

Q. ライオンズとの違いは？と聞かれてなんと答えますか？

Q. 誰かの役に立っているの？と聞かれてなんと答えますか？

私は、2番目の質問であるライオンズとの違い？が答えられませんでした。

先輩方には怒られるかもしれませんが、私は、両クラブとも同じ社会奉仕活動だと思っており、目的は同じで手法の違いなのかなと漠然と考えておりましたが、恐らく、明確な違いがあるのだと思いますので、岩田静夫大先輩からしっかり学びたいと思います。

最後に、この分科会では、小グループでのグループディスカッションが行われ、各クラブの公共イメージの取り組みについてシェアを行いました。

どのクラブも公共イメージについては、積極的な取り組みはできていない状況でしたが、発表者のお話の中で、ユーチューブやTikTok、インスタグラムを活用しているクラブがあり、効果分析などの具体的なお話を伺うことはできませんでしたが、新しいことにチャレンジしているクラブが増えてきているんだと思います。

江南ロータリークラブとして、公共イメージをどのように向上させていくのか、とても勉強になり考えさせられる時間となりました。

次年度に少しでも活かせるように頑張ってみます。

以上で報告を終わります。ありがとうございました。

次年度 国際奉仕委員長 早川 一三君



2025年4月20日 2025-26年度 地区研修・協議会 第3分科会 国際奉仕委員会の報告をいたします。「広めようロータリー・奉仕の力」というテーマで分科会は進行了ました。

冒頭、2025-26年度の地区研修・協議会としては

①これから3年計画で国際奉仕活動をしていくので2025-26年度はその橋掛の年にしたい。

②地区研修・協議会として事業を新たに行うことはしないつもりです。これからは各ロータリークラブで行っている事業の深堀り等お手伝いをしていくスタンスであることの説明がありました。

次に詳しい内容は次に記載します4つの項目がありました。

①職業奉仕と国際奉仕活動の連携

②国際奉仕活動のパッケージ化

③国内における国際奉仕活動

④グローバル補助金や地区補助金の活発な活用です。

①職業奉仕と国際奉仕活動の連携は以前地区研修・協議会が事業を直接行っていたがコロナ以降は行っていなかったため現状把握を調べるために各ロータリークラブにアンケートを提出していただきました。その結果として現状は国際奉仕活動を直接行うことは難しいというご回答を多数いただきました。この結果を踏まえ地区研修・協議会としては職業奉仕と国際奉仕活動の連携を今後どのようにしていくかを考察していくということでした。

②国際奉仕活動のパッケージ化はどちらかのロータリークラブでもう既におこなっている国際奉仕活動に応援するという事で区研修・協議会としてはその橋渡し役をしてその事業が数年に亘って成長していくようにしていきたいとのことでした、その事業の応援内容等は2025-26年度中に各ロータリークラブへ案内する予定とのことでした。

③国内における国際奉仕活動は昨今外国人労働者が日本中で大活躍をしてみえます。日本の労働力不足を補うのに外国人の方々にご協力をいただかなければ経済や生活が成り立たない状態ですが、文化の違いやトイレ・ゴミの出し方等で地域のコミュニケーションが取れないということが起きている昨今ロータリークラブが国内で生活してみえる外国人の方々に国際奉仕活動をおこなっていく必要があるので地区研修・協議会としてもフォローしていくということでした。

④グローバル補助金や地区補助金の活発な活用についてはどんどん活用してくださいとのことでした。

分科会は1時間40分でしたが、地区研修・協議会スタッフの方々の熱意充分なご説明等で瞬間に終了してしまいました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

次年度 社会奉仕委員長 波多野 智章君



次年度、社会奉仕委員会委員長を務めさせていただきます波多野です。副委員長の伊藤かね子さん、委員の富田清孝さん、滝祥夫さんと共に1年間活動してまいりますので宜しくお願いします。

地区研修協議会当日は第4分科会ということで、次年度地区社会奉仕委員会テーマである「地域社会を支えるために、共に学び、共に成長しよう～地域の未来を共に創造するために～」に沿って進行がされました。

まず最初に次期社会奉仕委員長より、

- ② 社会奉仕部門
- ③ 環境保全部門
- ④ RCC部門

が委員会の3つの柱でそれぞれの活動について概略の説明があり、その後各部門の副委員長より詳細な説明と活動報告がありました。

- ① 社会奉仕部門

地区内クラブ社会奉仕委員長会議の開催、社会奉仕活動の情報共有、クラブ卓話要請への対応が主な役割

- ② 環境保全部門

副委員長の片平さんよりクラブでの活動をテーマ別に整理・分類し各活動について説明をいただきました。

まとめとして環境保全事業を分類すると「環境美化・清掃活動」「植樹・緑化・自然再生活動」「環境教育・講演活動」「里山自然保全活動」「表彰・顕彰活動」に分類される。

活動の前提として「継続事業か単年度事業化か」「発案者は会長・幹事か、社会奉仕委員長か」「地区補助金申請するのか」「事業目的は明確か」「PUSH型かPULL型か」「協力者、協力団体を求めるか」「全員参加型になっているか」を明確にする。

企画検討時の視点として「短期的では無く長期的な視点で見ているか」「一面的ではなく多角的視点で見ているか」「表面的では無く根本的視点で見ているか」をディスカッション等していくことが重要である。

運営上の注意点として相談(自分一人で決めない。応援者を増やす)、お願い(できるだけ多くの人を巻き込む)、感謝(言葉に出して表現する)することが大切である。

以上片平副委員長より各事業の実例を踏まえ大変分かりやすい説明がありました。

③ RCC部門

RCCとはROTARY COMMUNITY CORPSの略でロータリー地域社会共同体のことです。1986-1987年のRI会長によって提案されフィリピンでの活動から始まりました。平たく言えばロータリークラブの奉仕プログラムと一般の人々が行う奉仕活動とを結びつける手伝いをするのです。

2760地区内でも14の団体が認定を受けているとのことでした。

以上各部門から報告と方針説明がありました。

一方当日の質問で地区研修協議会前に社会奉仕事業の内容が決まっているクラブが大半だったので、そのあたりも地区の社会奉仕委員会としての課題感を感じました。

本年度、当クラブの社会奉仕委員会としては新たな事業は現状考えていませんが、毎年継続している事業をしっかりと行っていくことと、奉仕プロジェクト常任委員会内の事業に対して積極的に協力をしていきたいと思えます。

1年間宜しくお願いいたします。

次年度 奉仕プロジェクト常任委員長 北畑 祐二君



先月4月20日に行われました、地区研修・協議会、略して地区協の第5分科会にてテーマを「われらロータリアンを合わせて地域に奉仕「職業奉仕」の心のもとに」のテーマのもと研修をうけてきました。

早いものでもう1ヶ月が過ぎてしまいすっかり内容を忘れかけておりましたので慌てて委員長から資料をいただきましたので思い出しながらお話をさせて頂きたいと思えます。

まずは職業奉仕という事で奉仕と言うと何となく「値引き」「おまけ」「無料」と言った自己犠牲を伴うイメージではないでしょうか？これが職業奉仕という言葉が難しくしている言う事です。

しかしこれをサービスに置き換えるとサービスとは「人の役に立つ働き」になります。

例えば分かりやすく言うと私がタイムレコーダーのインクリボンの注文を頂いたとします。

そこでお客様に10円、20円安くするのではなく、納品した時にインクリボンを交換してあげる。

これも一つのサービスになると思えます。

人の役に立つ仕事を通して利益を上げ、その利益が社員の給与になり、お客様への満足度も上がるのではないのでしょうか？

お金儲けと奉仕を解りやすく説明した人がいます。

それは二宮金次郎です。

金次郎の言葉に「経済なき道徳は戯言であり、道徳

なき経済は犯罪である。」
 これどんな意味かといいますと、
 経済力がない状態で、人の為に何かをしようと行動し
 ても限界がある。
 儲ければ人様の幸せなど関係無いという考え方でビジ
 ネスをすることは、ロータリアンとしては認められないと
 いう事です。
 ちょっと経済力が無い僕としては耳がいたいですけ
 ど…。
 これは両極端になってしまいますが、つまり、お客様に
 ご満足して頂ける様に、清く、正しく、お仕事を提供す
 る！
 さらに、安定した利益が得られるようにビジネスの方法
 を工夫する という事だそうです。
 それをかなえる方法の一つに「四つのテスト」がありま
 す。
 毎回例会でも行ってありますがこれは正しい行動の為
 のシンプルで覚えやすい倫理基準だそうです。
 この4つのテストを皆さんの会社の「社訓」「理念」を照
 らし合わせて考えるとロータリアンとして目指すところが
 見えてくるのではないのでしょうか？
 以上の内容で研修をうけてまいりました。

点 鐘

会長 南村 朋幸君

本日の食事



大口町記念品贈呈式

・日時 2025年5月23日(金)

・場所 大口町役場



南村会長と永田副会長が大口町役場を訪問し、鈴木町長へ江南ロータリークラブ60周年記念品としてデジタルカメラ3台を寄贈いたしました。

会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は
 アカウントを作成してください。
 ※アカウントがある方は
 ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760

アプリダウンロードはこちら



江南 RC 会報 YouTube

チャンネル登録はこちら

写真等ございましたら会報までお知らせください。
 (担当 内田 吉信)